

# JITAN PRESS

2007  
SPRING  
issue

北海道自動車短期大学 広報紙 [ジタン プレス] Vol.2

平成19年3月12日(第2号) 発行／北海道自動車短期大学 編集／北海道自動車短期大学入試部

JITAN NEWS

学88社もの企業が参加!!  
内企業説明会開催!!

実習紹介

エンジン実習  
レポート



点火プラグ

# 実習紹介

今回の実習は「エンジン実習」

## 実習の前に演習室に集まり 気をつけるポイントを確認

午後からはじまったエンジン演習は、その日の午前中に分解したエンジンを組み立てるという内容。まず演習室で、午後の作業のポイントを確認します。担当する近藤幹郎教授から、今回の実習の目的や気をつけることなどの指導を受けてから、学生たちは隣接する実習室へ。彼ら一年生は、前期の実習で一度エンジン分解・組立をやっています。今日の教材は以前とは違うエンジンで、キャブ仕様という古いタイプのものですが、マニアも多いそう。「現在では実際に整備工場などでエンジンを分解修理するようなケースはほとんどありません。だからこそ、ここでしっかり勉強する必要があるのです」と、近藤先生は実習の重要性について語ります。

## 仲間とのチームワークも大切 ミスに気づくのも勉強のうち

1クラス11人の学生が、2~3人ずつ4班に分かれて実習スタート。学生たちは慣れた手つきでさまざまな工具を使いながら、作業を分担して進めていきます。その中を、近藤先生は細かくアドバイスしながら見回ります。「先生、ここは？」不明な点はどんどん先生に質問する学生たち。先生に尋ねるだけでなく、学生同士がお互いに教え合っている姿も。このチームワークも実習のいいところなのです。と、ひとつの班から「あ、間違った！」との悲鳴が。どうやら部品を忘れて作業を進めてしまったよう……残念、やり直しです。そんな学生たちを優しく見つめる近藤先生。「手順を間違えるのも、それに気がつくのも勉強のうち。それでしっかり覚えて、次から気をつけようと思うことが大切なんです」



自動車整備を学ぶのに欠かせないのが実習。実際の車や部品を使って行われる実習の内容とは？ ちょっと、一緒にのぞいてみませんか。今回は、自動車工業科第一部1年後期に行われる実習をレポートします。

## 担当教授から ひとこと

今回の実習は、「自動車整備実習」のうちの「エンジン実習」です。前期に一度やっているものの復習に当たるものですね。前回は分解と組み立てに重点を置きましたが、今回はそれに整備というポイントが加わっています。

実習で最も気をつけているのはやはり「安全」です。実習室にはガソリンなどの危険物もありますから、実習中の油断は事故につながりかねません。そこは学生にも口をすっぱくして言っています。

教科書で習ったことを、手を動かしながら再確認するというのが実習の目的です。車のことを学ぶには、手を動かしてみるのが一番いいですから。あとは整備の基礎を学ぶということですね。二年生になると実習のレベルもぐんと上がりますから、一年生の時に基本をしっかりと身につけて欲しいと思っています。



教授・自動車工業科長  
**近藤 幹郎 先生**

## 安全を第一に進められる実習 成功したときの満足感は格別

「このボルト、締め忘れやすいから気をつけて」と、先生の指摘。長年の経験で、学生が見落としやすいポイントもわかっています。「これじゃダメ。授業でもやったる、ちゃんと覚えなきゃ！」実習には、危険が伴います。厳しい言葉も、学生たちの安全を第一に考えればこそ。今回はエンジンを組み上げるだけではなく、実際に始動するので、微調整にも神経をつかいます。

エンジンも組み上がり、いよいよ点火。エンジンオイルを入れて、バッテリーにつないで、スターターを回す……緊張の一瞬です。うまくエンジンが回ったあとも、タイミングライトでエンジンの点火時期を見ながら調整を加えていきます。今回の実習の成果は、組み立てたエンジンが回るのを見つめる学生たちの表情が物語っていました。

# この先生が知りたい!

丸山 晃市 学長

自短の先生ってどんな人たちなんだろう?  
という疑問に答える「この先生が知りたい」。  
今回は北海道工業大学の教授を経て自短の  
学長に就任した丸山晃市先生を紹介します。

## 自短は「学ぶ喜び」に満ちあふれています。 ものを作る感動と一緒に味わいましょう。



学長になってまだ間がないのですが、すっかり北海道自動車短期大学が大好きになりました。車やメカが好きな学生たちに刺激されて、こちらもワクワクしてくるんです。規模が大きすぎないため、先生と学生との関係が直接、アットホームな雰囲気なのも良いところではないでしょうか。

そんな自短の魅力を少しでも伝えたいと思って、私自身も全道各地の高校にお伺いしています。その中でよく、進路指導の先生方から「車を学ぶならやっぱり自短」という嬉しいお言葉を頂きました。日本初の自動車短期大学という歴史もさることながら、「二級自動車整備士試験」の合格率の高さや、就職先の豊富さなども安心感につながっているようです。でも一番は、学ぶ喜びに満ちた環境のすばらしさではないかと自負しています。学長として、今後は、これまでの歴史を大切にしながら、時代や社会のニーズにもしっかりと応えていきたいと考えています。

近年、高校生の理系離れが進んでいますが、ずっと工学専門でやってきた私に言わせると、理系が難しいというのは大きな間違い。こんなに面白いものはないと思っています。自分で考えて、自分の手を使って、新しいものを生み出せるんですから。自動車の整備はそんな醍醐味に満ちています。実習で自動車に向かっている学生の顔はイキイキしていて、本当に楽しそうです。ついていけるかどうか不安な人もいるかもしれません、私たちがぱっちりサポートしますから大丈夫ですよ。



### Profile

昭和38年 東京教育大学理学部物理学科卒業  
研究所・一般企業を経て

昭和42年 北海道工業大学助手  
同学講師・助教授を経て

昭和53年 北海道工業大学教授  
※以降、入試部長、学生部長、主任教授、専攻主任を歴任

昭和60年 工学博士学位取得

平成12年 北海道工業大学学長補佐

平成18年 北海道自動車短期大学  
学長に就任

## フツーの女の子でも大丈夫! 一人暮らしもがんばってます

自動車工業科第一部1年 山下 沙織 さん



勉強、趣味、遊び…。  
それぞれの夢に向かってがんばる  
自短生のコーナー!

## 学生紹介 がんばってます!



## 朝早くから集中して試験勉強 マイペースでがんばってます

自動車工業科第一部2年 中村 憲文 さん



がんばっている、というか、がんばらなくちゃいけないのは二級整備士の試験勉強ですね。試験日が近づいてきて、そろそろ本格的な追い込みに入るところですから。僕は朝型人間なので、朝5時半に起きて勉強しています。自短には珍しいタイプです(笑)。一人暮らしで、家事が趣味みたいなところがありますね。この時期は体調管理も大事ですから、食事にも気をつけていますよ。



自短に入ったのは、テレビでF1を観戦するのが好きで、自動車に関わる仕事がしたいと思ったのがきっかけ。もともと機械工学にも興味があったんですけどね。卒業後は油圧関係の製造業への就職が内定しています。神奈川県の企業なので、見知らぬ土地に行くという不安もありますが、自分らしくマイペースでがんばろうと思っています。

## JITAN BOOK REVIEW

### 子どもの疑問に答える「わが家のエコロジーエクスカーション」



「地球温暖化」「酸性雨」「オゾン層破壊」……最近よく聞く言葉です。何が原因なの? どんな影響が出るの? 私たちは何をしなきゃいけないの? という疑問に、気象予報士の著者が、家族の会話形式でわかりやすく解説しています。子供の疑問に答えるお父さん&お母さんのための本として書かれていますが、年齢を問わず高校生のみなさんにも環境問題について興味を持ってもらえるはずです。身近なところからできるエコロジーライフについて一緒に考えてみませんか?(私も講義のネタにしています。内緒ですが……)

自動車工業科 第一部 講師:北川 浩史 先生

■著者:田崎 久夫 ■サイズ/ページ:四六判 / 188ページ ■定価:1,300円 ■出版:日本教文社

## NEWS 刀根勝彦先生、国土交通大臣より表彰！

平成18年10月27日、自動車工業科の刀根勝彦教授が、冬柴鐵三国土交通大臣より表彰されました。長年、自動車整備技術者の育成に貢献した功績が認められたもので、対象者は全国でもわずか数名という非常に栄誉ある賞です。



刀根先生は昭和42年4月に本学自動車工業科助手として着任以来、39年間の長きにわたって、自動車整備技術をはじめ、機械工作・自動車材料を専門とした研究・教育に専念し、多数の優秀な卒業生を育ててきました。また、専攻科・車体工学専攻においても、この分野の第一人者として自動車車体整備士養成に尽力しています。学外においては、社団法人札幌地方自動車整備振興会主催の「ガス溶接技能講習」の講師を35年間務めていましたが、平成7年8月からは北海道運輸局自動車整備士技

能検定専門委員としても活躍中です。これまで各所から数多くの表彰を受けた刀根先生ですが、大臣表彰にはまた格別の思いがあるのではないかでしょうか。

本当におめでとうございます。

刀根先生は、日々進化を続けるさまざまな装備についての知識（使用方法や整備方法）はもちろんのこと、お客様との対話能力（依頼内容の問診や整備内容の説明）、法令遵守（不正改造防止等）や環境（大気汚染防止や自動車リサイクル法、PRTR、廃棄物処理法等）についての対応も求められます。まさに、車を購入してから廃車にするまでの、車のライフ・サイクル・コンサルタントといえるでしょう。これらの知識を修得しているのが一級自動車整備士です。

本学の自動車工学専攻科は、一級自動車整備士の養成をおこなっています。あなたも車のスペシャリスト（一級整備士）を目指して、本学と一緒に学びましょう！

## VOICE 専攻科で目指そう車のスペシャリスト

講師（一級自動車整備士）林孝一先生



ディーラーなど

のサービス・フロント（整備受付）で、お客様から車についての相談や整備の受注・

引渡しなどを担当するのがアドバイザーです。アドバイザーは、日々進化を続けるさまざま

な装備についての知識（使用方法や整備方法）はもちろんのこと、お客様との対話能力（依頼内容の問診や整備内容の説明）、法令遵守（不正改造防止等）や環境（大気汚染防止や自動車リサイクル法、PRTR、廃棄物処理法等）についての対応も求められます。まさに、車を購入してから廃車にするまでの、車のライフ・サイクル・コンサルタントといえるでしょう。これらの知識を修得しているのが一級自動車整備士です。

## NEWS 88社もの企業が参加 学内企業説明会開催！

平成19年2月7日、学内企業説明会が開催されました。学生が企業の採用担当者と直接面談するもので、実質的な就職活動のスタートとなる大切な行事です。今年は個別面談に88社もの企業にご参加いただきました。（他に資料配布参加20社）

当日は、そぞうたる自動車関連企業の担当者が、22会場に分かれて学生との面談に臨みました。企業も学生も真剣そ

ういった姿があちこちで見られました。歴史古い自短だけに、卒業生が後輩をスカウトしていくというケースも多く、「僕が在学していた頃はこんなに参加企業が多くなかつたので、後輩がうらやましいですね」と語るOBも。

「いいチャンスなので、学生たちには最低でも3社は回るように」と指導しています。「ここで担当者に気に入られると心強いですから」と語る先生たち。自短生たちの就職活動は、今年もいい形でのスタートとなつたようです。



### club 活動記 ラリージャパンスタッフ

モータースポーツ研究部1年  
佐藤 数馬

平成18年9月1日～3日、帯広市とその近郊で開催された「ラリージャパン」にボランティアスタッフとして部員16名で参加してきました。開催期間中に受け



## JITAN NEWS

**club クラブ 全日本学生ソーラー&FCカー チャンピオンシップでクラス優勝！**

ソーラーカー研究会顧問 山崎 信行 先生



秋田県大潟村で毎年開催されている「全日本学生ソーラー&FCカー チャンピオンシップ(以下J-SFC)」に今年も参加しました。1周約30kmのコースを3日間で何周できるかを競うレースで、我らが「スリスVI」が出場するのは、激戦区の「フルサイズカーテゴリー」!「ストッククラス」。昨年は惜しくも準優勝でしたが、今年の目標はズバリ優勝です。レース1日目は天候に恵まれず8周と走行距離が伸び悩みましたが、2位に1周差をつけて首位にたちました。2日目はタイヤのバーストなどトラブル続きながら、なんとか1周差を守りきり、2日間合計18周を記録。そして最終日、スリスVIは後続をどんどん引き離す好走で、今大会最高の12周を記録してフィニッシュ。3日間で30周、約90kmを走行し、2位の福島高専に3周差をつけて見事にクラス初優勝を飾ると共に、J-SFC総合成績でも2位の好成績となりました。これは、1年間にわたるマシーンの改良と、レース時の作戦や素早いトラブル対策などソーラーカー研究会部員の熱意と努力の賜物でした。

**club クラブ 柔道部で頑張ってみませんか？**

柔道部顧問 板東 明夫 先生



競技人口から考えると、柔道はマイナースポーツの部類に入るかもしれません。北海道内でも連盟への加盟校数や部員数は減少傾向にあるようです。しかし柔道は、オリンピックではメダルが期待される花形ですし、大きな国内大会はテレビ放映もされる非常にメジャーな競技なのです。

'05年度は5名、式段4名、初段1名が入部されました。'05~'06年度は部員の出入りがありました。が、主にこのメンバーで活動しました。5名の選手で戦う「団体戦」の2大会の戦績は、「05年度は1勝のみでした。が、「06年度は4勝をあげることができました。このうち、北海道地区大学体育大会では3位入賞を果たし、学生部長賞を受賞しました。このことはいつまでも学生の記憶に残り、頑張った自分を思い出しがあるのではないでしょうか。

二年間は確かに短いかも知れませんが、勉強やアルバイトのほかに打ち込んだものがあるという経験は貴重です。新入生諸君の入部を待っています。

## TOPICS

昨年8月に札幌トヨタ自動車株式会社から“てんとう君”的寄贈を受けました。このてんとう君は、1994年に札幌トヨタが国道36号線の大曲営業所に「RVランド」を開設した際に、シートベルトの効用と車両転倒時の脱出訓練をお客様に体験していただく目的で設置されたものです。

その後、RVランドを「ジェームズ大曲営業所」に営業変更したため、本学に寄贈されたものです。本学としては、工作分野でレストアし、各種のイベント(オープンキャンパス、施設見学等)にて、体験試乗を実施し、好評を得ています。みなさんも機会があればぜひ試乗してみてはいかがでしょうか?

# 探職場

さまざまなフィールドで活躍する自短のOB・OGたち。  
そんな卒業生たちのイキイキとした姿を  
現在の職場を通じて紹介するのが「職場探訪」。  
今回はアジャスターの黒澤求さんです。



**自短で培つた「人間力」を生かしてがんばっています。**

道工大編入を経て、アジャスターという仕事に。自短で培つた「人間力」を生かしてがんばっています。

アジャスターとは、保険会社の保険事故の損害調査をする仕事です。修理工場で損傷した車を確認し、修理のための見積や報告書を作成したり、事故の原因調査などを行ないます。事故後の示談を代行するのも業務のひとつです。自短で勉強したこととは仕事ですぐ役に立っていますよ。今でもデスクには学生時代の教科書を置いて、しようちゅう参考にしているくらいですから。

整備士が多い自短の卒業生の中で、私のような職種は変わり種ですが「チキンズがあるならチャレンジしてみよう」という気持ちで入社しました。実は、自短を卒業してから北海道工業大学の3年次へ編入しているんですが、これも人とは違う道を行つてみたくなりから。2年生のときは、一級自動車整備士の試験勉強と編入の準備で大変でしたが、道工大の機械システム

**黒澤 求さん**  
東京海上日動調査サービス株式会社北海道事業所勤務  
自動車工業科・トータルマネージメントコース 2004年3月卒  
黒澤さんの勤務は9:00~17:00。残業はあるが土日祝はしっかり休める。夏はバイクでツーリング、冬はスノーボードと休日はアクティビティに過ぎず、また、飲みに行くのが好きで、先輩たちを誘つて頻繁に出かけるそう。「飲みに行くのも人間関係に大切だから」とは本人談。



工学科へ進むことができました。個人的には、ストレートに大学へ進むより、いい経験になつたと思っています。

自短は先生と学生の距離がとても近く、わからなすことや追求したいことは徹底的に相談できる大学でした。そんな中で、トータルな「人間力」を身につけることができたように思います。勉強はもちろん、人間関係の大切さなど、いろいろなことを教わりました。それがアジャスターという仕事にも生きていますね。

日頃お伺いする修理工場にも自短の先輩が多いことや、追求したいことは徹底的に相談できる大学でした。そんな中で、トータルな「人間力」を身につけることができたように思います。勉強はもちろん、人間関係の大切さなど、いろいろなことを教わりました。それがアジャスターという仕事にも生きていますね。

自短は先生と学生の距離がとても近く、わからなことや追求したいことは徹底的に相談できる大学でした。そんな中で、トータルな「人間力」を身につけることができたように思います。勉強はもちろん、人間関係の大切さなど、いろいろなことを教わりました。それがアジャスターという仕事にも生きていますね。

# INFORMATION

## 2007年入試イベントスケジュール

- 4月**  
 23日 進学ガイダンス(旭川)  
 24日 進学ガイダンス(北見)  
 25日 進学ガイダンス(釧路)  
 26日 進学ガイダンス(帯広)

- 5月**  
 9日 進学ガイダンス(函館)  
 18日 進学ガイダンス(札幌)  
 25日 前期 進学相談会(札幌)

- 6月**  
 12日 オール進学相談会(函館)  
 18日 オール進学相談会(旭川)  
 19日 オール進学相談会(北見)  
 21日 オール進学相談会(釧路)  
 22日 オール進学相談会(帯広)  
 26日 オール進学相談会(札幌)



進学についてわからぬことがあります。でも大丈夫！進学相談会で教職員が親身になって疑問にお答えしています。

- 30日** オープンキャンパス2007(第1回)  
 チャレンジメカニック2007(第1回)

- 7月**  
 28日 オープンキャンパス2007(第2回)  
 チャレンジメカニック2007(第2回)



教材やキットカーに触れるチャレンジメカニック。これに参加してジタンへの進学を決めた先輩も多いのです。

- 8月**  
 11日 オープンキャンパス2007(第3回)  
 23日 後期 進学相談会(函館)  
 24日 後期 進学相談会(札幌)  
 27日 後期 進学相談会(旭川)  
 28日 後期 進学相談会(北見)  
 29日 後期 進学相談会(釧路)  
 30日 後期 進学相談会(帯広)

8月  
 11日～9月17日  
 夏季一斉休業

- 9月**  
 18日 後期 進学相談会(苫小牧)  
 19日 後期 進学相談会(室蘭)  
 20日 後期 進学相談会(小樽)  
**22日** オープンキャンパス  
 2007(第4回)

ひと足早くジタンの雰囲気を味わえるオープンキャンパス。参加すれば先生や先輩たちとも仲良くなれますよ。



学校法人 北海道尚志学園

**HAEC 北海道自動車短期大学**

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号

- 地下鉄南北線「中の島」駅より徒歩15分
- じょうてつバス・南65の中の島線「中の島1条6丁目」停より徒歩1分

TEL／(011)821-0175(代) FAX／(011)821-7300  
 お問い合わせ…e-mail: nyushi@haec.ac.jp

w w w . h a e c . a c . j p

学校法人北海道尚志学園

- 北海道工業大学
- 北海道薬科大学
- 北海道総合電子専門学校
- 北海道尚志学園高等学校
- 北海道自動車学校

